

(様式第9号) (第51条の7、第54条の2、第55条関係)

30 上伊広連ご第33号

平成30年6月19日

事後調査報告書

長野県知事 阿部 守一 殿

住所 長野県伊那市荒井3500番地1

氏名 上伊那広域連合

広域連合長 白鳥 孝

長野県環境影響評価条例第31条第1項(長野県環境影響評価条例第40条第1項において準用する同条例第31条第1項)の規定により、下記のとおり送付します。

記

対象事業の名称	上伊那広域連合新ごみ中間処理施設整備事業
対象事業の種類	一般廃棄物処理施設(ごみ焼却施設)の建設
対象事業の規模	施設規模 118 t/日 (59 t/24 h × 2 炉)
対象事業実施区域	長野県伊那市富県 3790 番地ほか
関係地域の範囲	長野県伊那市
報告対象期間	平成 29 年 6 月 1 日から 平成 30 年 5 月 29 日まで
事後調査の状況	評価書に基づき事後調査を実施(詳細別紙)
環境の保全のための措置の状況	評価書に基づき環境保全措置を実施(詳細別紙)
対象事業の実施の完了後、対象事業に係る土地又は工作物において行われる事業活動その他の人の活動で当該対象事業の目的に含まれるものを引き継いだ場合にあっては、当該引き継いだ者の住所及び氏名(法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)	

(備考) 必要に応じ、事後調査の状況又は環境の保全のための措置の状況に係る図面又は写真を添付すること。

新ごみ中間処理施設建設に係る  
環境影響評価事後調査報告書

平成 30 年 6 月

上伊那広域連合

# 新ごみ中間処理施設建設に係る環境影響評価事後調査報告書

## 目 次

### 第 1 章 事業計画の概要

1.1 事業の名称 .....	1
1.2 事業者の氏名及び住所 .....	1
1.3 事業の種類 .....	1
1.4 対象事業実施区域 .....	1
1.5 対象事業の内容の概略 .....	2
1.5.1 施設規模 .....	2
1.5.2 主要設備等の概要 .....	2
1.5.3 実施期間 .....	2

### 第 2 章 事後調査、環境保全措置の計画及び実施

2.1 事後調査 .....	3
2.1.1 調査の目的 .....	3
2.1.2 大気質 .....	5
2.1.3 騒音 .....	13
2.1.4 振動 .....	18
2.1.5 動物 .....	23

# 事後調査報告書

## 第1章 事業計画の概要

### 1.1 事業の名称

上伊那広域連合新ごみ中間処理施設建設事業

### 1.2 事業者の氏名及び住所

事業者の氏名 : 上伊那広域連合  
                  広域連合長       白鳥 孝  
事業者の住所 : 長野県伊那市荒井 3500 番地 1

### 1.3 事業の種類

廃棄物処理施設（ごみ焼却施設）の建設

### 1.4 対象事業実施区域

長野県伊那市富県 3790 番地ほか



図 1.4-1 対象事業実施区域の位置



## 第2章 事後調査、環境保全措置の計画及び実施

### 2.1 事後調査及び環境保全措置の実施状況

#### 2.1.1 調査の目的

本報告書は、上伊那広域連合の新ごみ中間処理施設建設工事に伴う影響について、環境影響評価書に基づき、平成29年度に工事による影響が最盛期を迎える項目等について工事に伴う環境影響を把握することを目的に調査を行った。

工事工程と環境影響評価事後調査実施時期の対応を表2.1.1-1、工事工程に対応した建設機械の稼働台数を表2.1.1-2に示す。表2.1.1-2に示すとおり、平成30年3月から8月までの建設機械稼働台数が多くっており、この期間を建設工事（本体工事・プラント工事）の最盛期と判断した。事後調査の結果、建設工事の実施が周辺環境に影響を及ぼしていることを確認した場合には、早期に環境保全措置の追加等が必要なことから、工事の最盛期初期の3月に大気質、騒音及び振動の調査を実施した。

以上のことから、平成29年度に工事による影響が最盛期を迎える項目は、建設工事（本体工事・プラント工事）の実施に伴う建設作業機械の影響による大気質（一酸化窒素、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質）、騒音及び振動である。また、動物に関して、環境影響評価書とりまとめ後に生息の情報があつた種の保存法に指定されている猛禽類（オオタカ）について調査を行った。

表 2.1.1-1 工事工程表と環境影響評価事後調査実施時期の対応表

年 度	H27				H28								H29								H30				31						
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4				
実施設計	実施設計等																														
土木建築工事																															
造成・外構工事																															
本体工事																															
プラント工事																															
試運転性能試験																															
事後調査の実施時期																															
大気質 (NOx,SPM)																															
大気質 (降下ばいじん)																															
騒音・振動																															
水質																															
水象																															
動物																															

表 2.1.1-2 工事工程と建設機械稼働台数の対応表

年月	H28年度							平成29年度												平成30年度													
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
工事開始からの月数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
準備(仮設)工事	—————																																
周辺工事(排水路、市道改修)	—————																																
土工事					—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————		
躯体工事					—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————		
鉄骨工事					—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————		
外装仕上げ工事					—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————		
内装仕上げ工事					—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————		
プラント工事					—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————		
外構工事					—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————	—————		
建設作業機械稼働台数(台/日)																																	
バックホウ 0.4m3	1	2	2	2	2	2														1	1			1	1	3	2	2			1	1	1
バックホウ 0.7m3	1	2	2	2	4	4														1	1			1	3	2	2						
ブルドーザ 3t	2	2	2																														
ラフタークレーン 25~50t	1								1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	2	2	2	1	1						
クローラクレーン 90t							1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1						
クローラクレーン 120t					1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1						
クローラクレーン 350t										0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1						
生コンポンプ車 8t							1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1						
モーターグレーダ W=3.1m																														1	1		
振動ローラ 10t		1	1	1																										1	1		
タイヤローラ 20t																														1	1		
アスファルトフィニッシャー W=6.0m																														1	1		
合計	2	8	7	7	6	7	3	3	4	4	4	4	3	4	6	6	7	7	9	9	6	7	6	10	7	6	4	4	1	1	1		
工事関係車両台数																																	
大型車10t・トラクタ(台/日(往復))	1	20	20	20	20	60	60	60	60	60	60	60	60	65	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	30	5	5	5
小型車4t・ユニック(台/日(往復))	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	30	30	30	30
通勤車両(台/日(往復))	20	30	30	30	40	40	40	50	50	60	60	70	70	100	100	100	100	100	100	150	150	150	170	170	170	200	130	100	80	60	60	60	
合計	31	60	60	60	70	120	120	130	130	140	140	150	150	190	160	160	170	170	220	220	240	240	240	270	200	170	140	95	95	95	95		

## 2.1.2 大気質

### (1) 環境影響評価書に記載した事後調査計画の内容

#### 1) 調査項目等

工事による大気質への影響の事後調査は表 2.1.2-1 に示す内容で計画する。

調査項目は建設機械の稼働に伴う一酸化窒素、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質、掘削工事に伴う降下ばいじんとする。

このうち、今年度は建設工事の最盛期を迎えたことから、一酸化窒素、二酸化窒素、浮遊粒子状物質及び地上気象調査を行った。なお、掘削工事の最盛期を対象とする降下ばいじん調査は平成 28 年度に実施済みである。

工事中の大気質への影響は対象事業実施区域周辺に限られることから、調査地点は環境影響評価書に記載の事後調査計画に基づき、図 2.1.2-1 に示す対象事業実施区域内 1 地点と計画とする。

表 2.1.2-1 大気質の事後調査計画

調査項目	調査頻度	調査方法	調査地点
一酸化窒素 二酸化窒素 浮遊粒子状物質	1回（工事の最盛期） （7日間/季）	24時間連続測定 [1時間値× 24回×7日]	対象事業実施区域内の主風向 風下側1地点とする
地上気象 （風向・風速、気温、湿度）			
降下ばいじん	1回（工事の最盛期） （30日間）	連続捕集 [1検体/30日]	対象事業実施区域内の主風向 風下側1地点とする

## 2) 測定方法

大気質の測定は、「大気の汚染に係る環境基準について」及び「二酸化窒素に係る環境基準について」等に定める方法に準拠して、表 2.1.2-2 に示す方法により行う。また、地上気象の測定は、地上気象観測指針に定める方法により行う。

表 2.1.2-2 大気質の測定方法

測定項目	測定方法	データの情報	測定位置
一酸化窒素 (NO)	ザルツマン吸光光度法 (JIS B 7953)	毎正時	1.5m
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )			
浮遊粒子状物質 (SPM)	β線吸収法 (JIS B 7954)	毎正時	3.5m

## 3) 環境保全措置の実施状況

環境影響評価書に記載した環境保全措置の内容及び環境保全措置の実施状況は、表 2.1.2-3 に示すとおりである。

表 2.1.2-3 環境保全措置の実施状況(建設機械の稼働)

環境保全措置	環境保全措置の種類	環境保全措置の内容	環境保全措置の実施状況
排出ガス対策型機械の使用	最小化	建設機械は、排出ガス対策型の建設機械を使用する。	低排出ガス型機械を使用し抑制を行った。
建設機械稼働時間の抑制	低減	建設機械は、アイドリング停止を徹底する。	工事関係者に指導・教育を行い、周知徹底及び管理を行った。 ・新規入場者教育 ・朝礼・昼礼での打合せ ・災害防止協議会

### 【環境保全措置の種類】

回避：全部又は一部を行わないこと等により、影響を回避する。

最小化：実施規模又は程度を制限すること等により、影響を最小化する。

修正：影響を受けた環境を修復、回復又は復元すること等により、影響を修正する。

低減：継続的な保護又は維持活動を行うこと等により、影響を低減する。

代償：代用的な資源もしくは環境で置き換え、又は提供すること等により、影響を代償する。



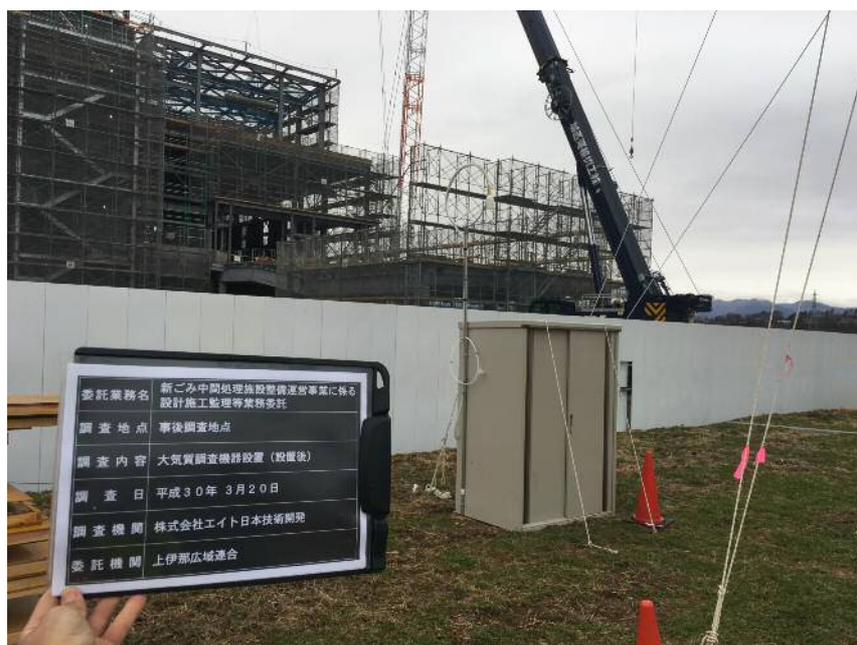
## (2) 事後調査結果

### 1) 調査実施状況

大気質の事後調査は、環境影響評価書記載の事後調査計画と同一の内容により実施した。  
事後調査の調査期日は、表 2.1.2-4 に示すとおりである。

表 2.1.2-4 調査期日

項目	調査期日	調査期日の設定理由
一酸化窒素 二酸化窒素 浮遊粒子状物質 地上気象 (風向・風速、気温、湿度)	平成 30 年 3 月 21 日～3 月 27 日 (7 日間)	建設工事（躯体工事・プラント工事）の最盛期を対象とした



【事後調査（大気質）の実施状況】

## 2) 調査結果

### ① 窒素酸化物

#### a. 窒素酸化物及び一酸化窒素

窒素酸化物及び一酸化窒素の調査結果を表 2.1.2-5 に示す。窒素酸化物の事後調査結果の期間平均値は環境影響評価現地調査結果の年間調査結果よりもやや高い濃度であった。一酸化窒素の事後調査結果の期間平均値は環境影響評価現地調査結果の年間調査結果と同じ濃度であった。

表 2.1.2-5 窒素酸化物及び一酸化窒素調査結果

調査時期	窒素酸化物			一酸化窒素		
	期間平均値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)	日平均値の最高値 (ppm)	期間平均値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)	日平均値の最高値 (ppm)
事後調査結果	0.008	0.066	0.013	0.003	0.042	0.006
環境影響評価 現地調査結果 (年間)	0.007	0.028	0.017	0.003	0.012	0.005

注) 事後調査結果は7日間(168時間)の平均値又は最高値  
環境影響評価現地調査結果(年間)は現況調査を実施した四季各7日(計28日間)の平均値又は最高値

#### b. 二酸化窒素

二酸化窒素の調査結果を表 2.1.2-6 に示す。事後調査結果の期間平均値は環境影響評価現地調査結果の年間調査結果よりもやや高い濃度であった。環境基準との比較では、事後調査結果は環境基準を満足する結果であった。

表 2.1.2-6 二酸化窒素調査結果

調査時期	期間平均値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)	日平均値			環境基準との適合状況
			最高値 (ppm)	0.04ppm以上 0.06ppm以下の日数 (日)	0.06ppmを超えた日数 (日)	
事後調査結果	0.005	0.024	0.007	0	0	○
環境影響評価 現地調査結果 (年間)	0.004	0.022	0.012	0	0	○

注) 環境基準との適合状況は、環境基準値以下の場合には「○」とした。  
環境基準は「1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること」

### ② 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質の調査結果を表 2.1.2-7 に示す。事後調査結果の期間平均値は環境影響評価現地調査結果の年間調査結果よりもやや低い濃度であった。環境基準との比較では、事後調査結果は環境基準を満足する結果であった。

表 2.1.2-7 浮遊粒子状物質調査結果

調査 時期	期間平均 値 (mg/m <sup>3</sup> )	1 時間値		日平均値		環境基準 との適合 状況
		最高値 (mg/m <sup>3</sup> )	0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた 時間数 (時間)	最高値 (mg/m <sup>3</sup> )	0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた 日数 (日)	
事後調査結果	0.007	0.023	0	0.013	0	○
環境影響評価 現地調査結果 (年間)	0.010	0.054	0	0.033	0	○

注) 環境基準との適合状況は、環境基準値以下の場合には「○」とした。

環境基準値は「1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/ m<sup>3</sup>以下であり、かつ、1 時間値が 0.20 mg/m<sup>3</sup>以下であること」

### ③ 地上気象

地上気象調査結果を表 2.1.2-8 に示す。大気質測定期間中の日平均気温は 6.3℃、平均湿度は 67.6%、平均風速は 1.9m/s、最多風向は南東であった。

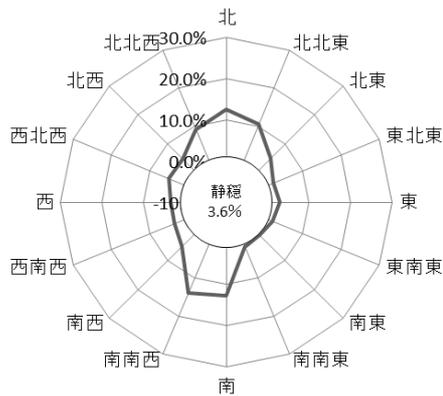
環境影響評価現況調査時（平成 24 年 3 月 1～31 日）では、アメダス伊那観測局の風向は北と南南西の風が主であったが、対象事業実施区域では地形の関係から西北西と南東の風が主となっていた。事後調査実施時（平成 30 年 3 月 21～27 日）のアメダス伊那観測局の風向は北北東と南の風が主となっており、環境影響評価現況調査時と大きな変化は見られない。事後調査時に対象事業実施区域で西系の風が観測されなかったのは、調査地点西側で建設中のプラント施設の建築物が風を遮ったことが原因と考えられる。

環境影響評価現況調査時と事後調査時ではアメダス伊那観測局の結果は大きな変化を示していないことから、広域的には現況調査実施時の気象条件と大きな違いがなかったものと考えられる。

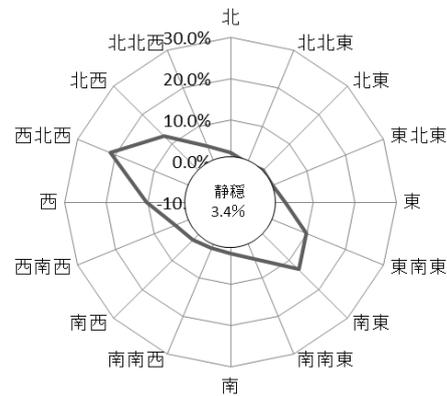
現況調査時と事後調査時の風向の比較を図 2.1.2-2 に示す。

表 2.1.2-8 地上気象調査結果

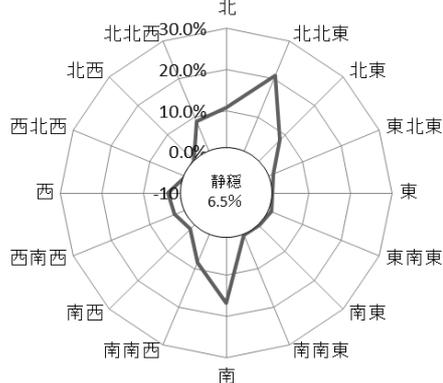
気温 (°C)			湿度 (%)		風向・風速 (m/s)					
平均			最高	最低	平均	最小	平均 風速	最多 風向	最大風速	
日平均	日最高	日最低							風速	風向
6.3	9.9	1.5	21.2	-1.2	67.6	19.3	1.9	南東	4.8	北北東



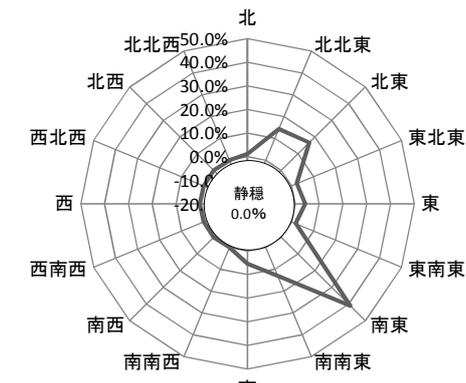
アメダス伊那局（現況調査時 平成 24 年 3 月 1～31 日）



対象事業実施区域（現況調査時 平成 24 年 3 月 1～31 日）



アメダス伊那局（事後調査時 平成 30 年 3 月 21～27 日）



対象事業実施区域（事後調査時 平成 30 年 3 月 21～27 日）

図 2. 1. 2-2 現況調査時と事後調査時の風向の比較

### 3) 事後調査結果と環境影響評価予測結果・環境保全目標の比較

予測に用いた建設機械稼働台数と事後調査時の建設機械稼働台数の比較を表 2. 1. 2-9 に示す。

事後調査時の建設機械の稼働状況は、予測条件よりバックホウが 2 台、ラフタークレーンが 1 台少なく、クローラクレーンが 1 台多い状況であった。また、大型ブレーカの使用はなかった。ただし、予測にあたっては、環境影響の危険側を考慮して建設機械台数を多めに設定したことから、実際の稼働台数がやや少なかったことは妥当だと考える。

表 2. 1. 2-9 建設機械の予測条件と事後調査時稼働台数の比較

機械種別	予測条件	事後調査時稼働台数
バックホウ	4 台	2 台
大型ブレーカ	1 台	—
ラフタークレーン	3 台	2 台
クローラクレーン	2 台	3 台
コンクリートポンプ車	1 台	1 台

事後調査結果と環境影響評価結果及び環境保全目標の比較を表 2. 1. 2-10 に示す。

二酸化窒素の事後調査結果は、日平均値の最大値で 0.007ppm であった。これは予測結果

(年平均値)の0.0071~0.0108ppmと概ね近い値であった。同様に浮遊粒子状物質の事後調査結果は、日平均値の最大値で0.013mg/m<sup>3</sup>であり、予測結果(年平均値)の0.0103~0.0129mg/m<sup>3</sup>と概ね近い値であった。

事後調査結果と予測結果の日平均値の98%値(二酸化窒素)、日平均値の2%除外値(浮遊粒子状物質)の比較では、予測結果が大幅に高い結果となった。日平均値の98%値及び日平均値の2%除外値は、年間のうち工事の影響以外のバックグラウンドの大気質濃度が非常に高い条件で観測される値である。今回の事後調査期間にはその事象は出現しなかったため、事後調査結果と予測結果の日平均値の98%値(二酸化窒素)、日平均値の2%除外値(浮遊粒子状物質)に差が生じたものと考えられる。

事後調査時の建設機械稼働台数は予測条件とほぼ同等であったこと、事後調査結果と予測結果の年平均値は概ね近い値であったことから予測結果は妥当であったと考える。

また、事後調査結果は環境保全目標を満足する結果であったことから、工事に伴う大気質への影響は生じていないものと考えられる。

表 2.1.2-10 事後調査結果と環境影響評価結果・環境保全目標との比較

測定項目	事後調査結果 (日平均値の最大値)	環境影響評価 予測結果		環境保全目標
		年平均値	日平均値の98%値	
二酸化窒素	0.007ppm	年平均値	0.0071~0.0108ppm	日平均値
		日平均値の98%値	0.0191~0.0268ppm	0.04ppm以下
浮遊粒子状物質	0.013mg/m <sup>3</sup>	年平均値	0.0103~0.0129mg/m <sup>3</sup>	日平均値
		日平均値の2%除外値	0.0303~0.0345mg/m <sup>3</sup>	0.10mg/m <sup>3</sup> 以下

### (3) 工事の実施中において事後調査の状況に応じて講じられる環境保全措置

表 2.1.2-3 に示すとおり、環境影響評価書に記載した環境保全措置は全て実施したこと及び事後調査の結果においても環境保全目標を満足していたことから、これらの環境保全措置は効果を発揮していたものとする。このため、追加の環境保全措置の検討は行わなかった。

## 2.1.3 騒音

### (1) 環境影響評価書に記載した事後調査計画の内容

#### 1) 調査項目等

工事による騒音への影響の事後調査は表 2.1.3-1 に示す内容で計画する。

調査項目は、建設作業騒音レベルとする。調査頻度は工事の最盛期 1 回とする。

調査地点は、図 2.1.3-1 に示す予測地点である敷地境界 1 地点及び環境騒音調査地点 3 地点の計 4 地点とする。

表 2.1.3-1 騒音の事後調査計画（工事中）

調査項目	調査頻度	調査方法	調査地点
建設作業 騒音レベル	1回（工事の最盛期）	連続測定 [昼間12時間連続]	予測地点の4地点 (敷地境界1地点及び環境騒音調査 地点3地点)
測定方法 1：「騒音に係る環境基準について」に定める方法 2：特定工場等において発生する騒音の規制に関する基準に定める方法			

#### 2) 環境保全措置の実施状況

環境影響評価書に記載した環境保全措置の内容及び環境保全措置の実施状況は、表 2.1.3-2 に示すとおりである。

表 2.1.3-2 環境保全措置（建設機械の稼働）

環境保全措置	環境保全措置の種類	環境保全措置の内容	環境保全措置の実施状況
工事区域に仮囲いを設置	最小化	工事区域外への建設作業騒音の伝搬を抑制するため、工事区域外周に工所用仮囲いを設置する。	仮囲いを設置し、騒音抑制を行った。
低騒音型機械の使用	最小化	建設機械は、低騒音型又は超低騒音型の建設機械を使用する。	低騒音型、超低騒音型の重機を使用し、騒音抑制を行った。
騒音発生が小さい工法の検討	最小化	杭打工事の工法は、騒音発生が小さい工法を検討する。	騒音発生源である杭打工事は計画していない。
建設機械の稼働時間の遵守	最小化	早朝・夜間及び日曜日は、騒音を発生させる作業は原則実施しない。	工事時間は、月曜日～土曜日 8：00～17：00 とした。

#### 【環境保全措置の種類】

回避：全部又は一部を行わないこと等により、影響を回避する。

最小化：実施規模又は程度を制限すること等により、影響を最小化する。

修正：影響を受けた環境を修復、回復又は復元すること等により、影響を修正する。

低減：継続的な保護又は維持活動を行うこと等により、影響を低減する。

代償：代用的な資源もしくは環境で置き換え、又は提供すること等により、影響を代償する。

## (2) 事後調査結果

### 1) 調査実施状況

騒音の事後調査は、環境影響評価書事後調査計画と同一の内容により実施した。

事後調査の調査期日は、表 2.1.3-3 に示すとおりである。

表 2.1.3-3 調査期日

項目	調査期日	調査期日の設定理由
建設作業騒音レベル	平成 30 年 3 月 27 日 7 時～19 時	建設工事（躯体工事・プラント工事）の最盛期を対象とした



【事後調査（騒音）の実施状況】（St. 4）

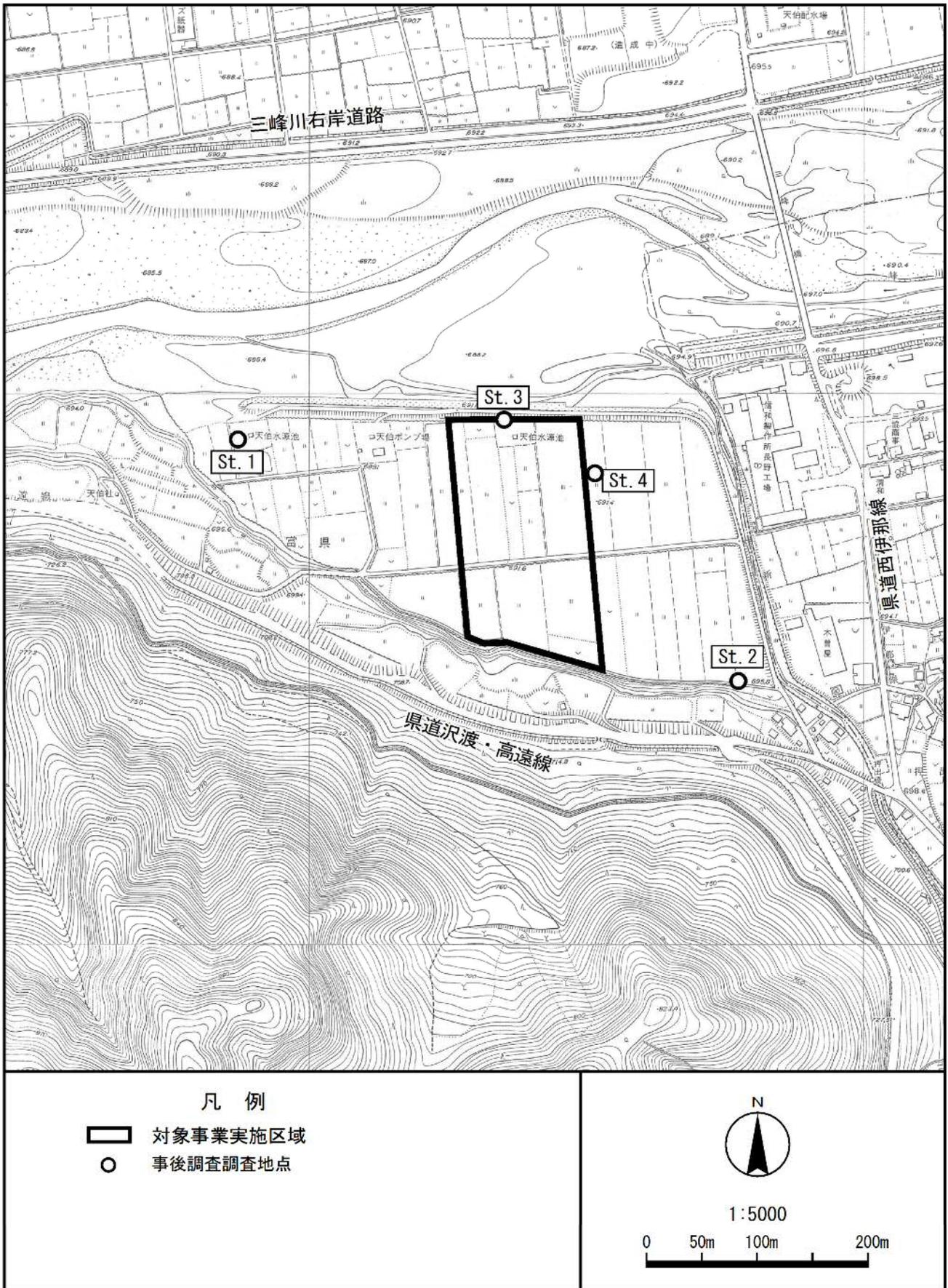


図 2.1.3-1 騒音事後調査地点（工事中）

## 2) 調査結果

騒音調査結果を表 2.1.3-4 に示す。事後調査結果の等価騒音レベル (LAeq) は St. 1 で 47.0dB(A)、St. 2 で 47.8dB(A)、St. 3 で 52.6dB(A)、St. 4 で 63.2dB(A)であった。また、時間率騒音レベル (LA<sub>5</sub>) は St. 1 で 50dB(A)、St. 2 で 51dB(A)、St. 3 で 56dB(A)、St. 4 で 59dB(A)であった。

St. 1~3 の事後調査結果を環境影響評価現地調査結果と比較すると、3 地点ともに現地調査結果より騒音レベルが高くなっていた。

騒音に係る規制・基準値との比較では、周辺調査地点の St. 1~3 については等価騒音レベル (LAeq) を「騒音に係る環境基準 (A 類型：昼間)」と比較した。その結果、3 地点ともに基準値より小さい値であった。工事区域境界地点の St. 4 については、時間率騒音レベル (LA<sub>5</sub>) を「騒音規制法に定められる特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」と比較した。その結果、事後調査結果は規制基準値を満足する値であった。

表 2.1.3-4 騒音の事後調査結果

単位：dB(A)

調査地点		事後調査結果		環境影響評価 現地調査結果		騒音に係る規制・基準値	
		LAeq	LA <sub>5</sub>	LAeq	LA <sub>5</sub>		
周辺地点	St. 1	47.0	50	42.8	45	55 以下	環境基準 (LAeq) (昼間 A 類型)
	St. 2	47.8	51	38.2	41		
	St. 3	52.6	56	41.1	44		
工事区域 境界地点	St. 4	63.2	59	—	—	85 以下	特定建設作業 規制基準 (LA <sub>5</sub> )

注) St. 4 では環境影響評価現地調査時には調査を行っていない。

LAeq は小数点以下 1 桁の表記、LA<sub>5</sub> は整数の表記とした。

## 3) 事後調査結果と環境影響評価予測結果・環境保全目標の比較

予測に用いた建設機械稼働台数と事後調査時の建設機械稼働台数の比較を表 2.1.3-5 に示す。

事後調査時の建設機械の稼働状況は、予測条件よりバックホウが 2 台、ラフタークレーンが 1 台少なく、クローラクレーンが 1 台多い状況であった。また、大型ブレイカの使用はなかった。ただし、予測にあたっては、環境影響の危険側を考慮して建設機械台数を多めに設定したことから、実際の稼働台数がやや少なかったことは妥当だと考える。

表 2.1.3-5 建設機械の予測条件と事後調査時稼働台数の比較

機械種別	予測条件		事後調査時 稼働台数
	台数	騒音パワーレベル (dB(A))	
バックホウ	4台	99~106	2台
大型ブレーカ	1台	106	—
ラフタークレーン	3台	100~107	2台
クローラクレーン	2台	107	3台
コンクリートポンプ車	1台	107	1台

事後調査結果と環境影響評価結果及び環境保全目標の比較を表 2.1.3-6 に示す。

事後調査の結果は、すべての地点で予測結果とほぼ同等の値であった。事後調査時の建設機械稼働台数は予測条件とほぼ同等であったこと、事後調査結果と予測結果はほぼ同じ値であったことから予測結果は妥当であったと考える。

また、St.4 においては環境保全目標を満足する結果であったことから、工事に伴う騒音の影響は生じていないものと考えられる。

表 2.1.3-6 事後調査結果と環境影響評価結果・環境保全目標との比較

単位：dB(A)

調査地点		事後調査結果	環境影響評価 予測結果	環境保全目標 (LA <sub>5</sub> )	
		LA <sub>5</sub>	LA <sub>5</sub>		
周辺地点	St.1	50	51	—	—
	St.2	51	49		
	St.3	56	57		
工事区域 境界地点	St.4	59	59	85 以下	特定建設作業 規制基準

注) 環境影響評価予測結果は躯体工事・プラント工事を対象にした予測結果の値

### (3) 工事の実施中において事後調査の状況に応じて講じられる環境保全措置

表 2.1.3-2 に示すとおり、環境影響評価書に記載した環境保全措置は全て実施したこと及び事後調査の結果においても環境保全目標を満足していたことから、これらの環境保全措置は効果を発揮していたものとする。このため、追加の環境保全措置の検討は行わなかった。

## 2.1.4 振動

### (1) 環境影響評価書に記載した事後調査計画の内容

#### 1) 調査項目等

工事による振動への影響の事後調査は表 2.1.4-1 に示す内容で計画する。

調査項目は、建設作業振動レベルとする。調査頻度は工事の最盛期 1 回とする。

調査地点は、図 2.1.4-1 に示す予測地点である敷地境界及び環境振動調査地点 3 地点の計 4 地点とする。

表 2.1.4-1 振動の事後調査計画（工事中）

調査項目	調査頻度	調査方法	調査地点
建設作業 振動レベル	1回（工事の最盛期）	連続測定 [昼間12時間連続]	予測地点の4地点 (敷地境界及び環境振動調査 地点3地点)
測定方法 1：特定工場等において発生する振動の規制に関する基準に定める方法			

#### 2) 環境保全措置の実施状況

環境影響評価書に記載した環境保全措置の内容及び環境保全措置の実施状況は、表 2.1.4-2 に示すとおりである。

表 2.1-4-2 環境保全措置(建設機械の稼働)

環境保全措置	環境保全措置の種類	環境保全措置の内容	環境保全措置の実施状況
低振動型機械の使用	最小化	建設機械は、低振動型の建設機械の使用に努める。	振動発生源である杭打工事は計画していない。
建設機械の稼働時間の遵守	最小化	早朝・夜間及び日曜日は、振動を発生させる作業は原則実施しない。	工事時間は、月曜日～土曜日 8：00～17：00 とした。

#### 【環境保全措置の種類】

回 避：全部又は一部を行わないこと等により、影響を回避する。

最小化：実施規模又は程度を制限すること等により、影響を最小化する。

修 正：影響を受けた環境を修復、回復又は復元すること等により、影響を修正する。

低 減：継続的な保護又は維持活動を行うこと等により、影響を低減する。

代 償：代用的な資源もしくは環境で置き換え、又は提供すること等により、影響を代償する。

## (2) 事後調査結果

### 1) 調査実施状況

振動の事後調査は、環境影響評価書事後調査計画と同一の内容により実施した。

事後調査の調査期日は、表 2.1.4-3 に示すとおりである。

表 2.1.4-3 調査期日

項目	調査期日	調査期日の設定理由
建設作業振動レベル	平成 30 年 3 月 27 日 7 時～19 時	建設工事（躯体工事・プラント工事）の最盛期を対象とした



【事後調査（振動）の実施状況】（St. 4）

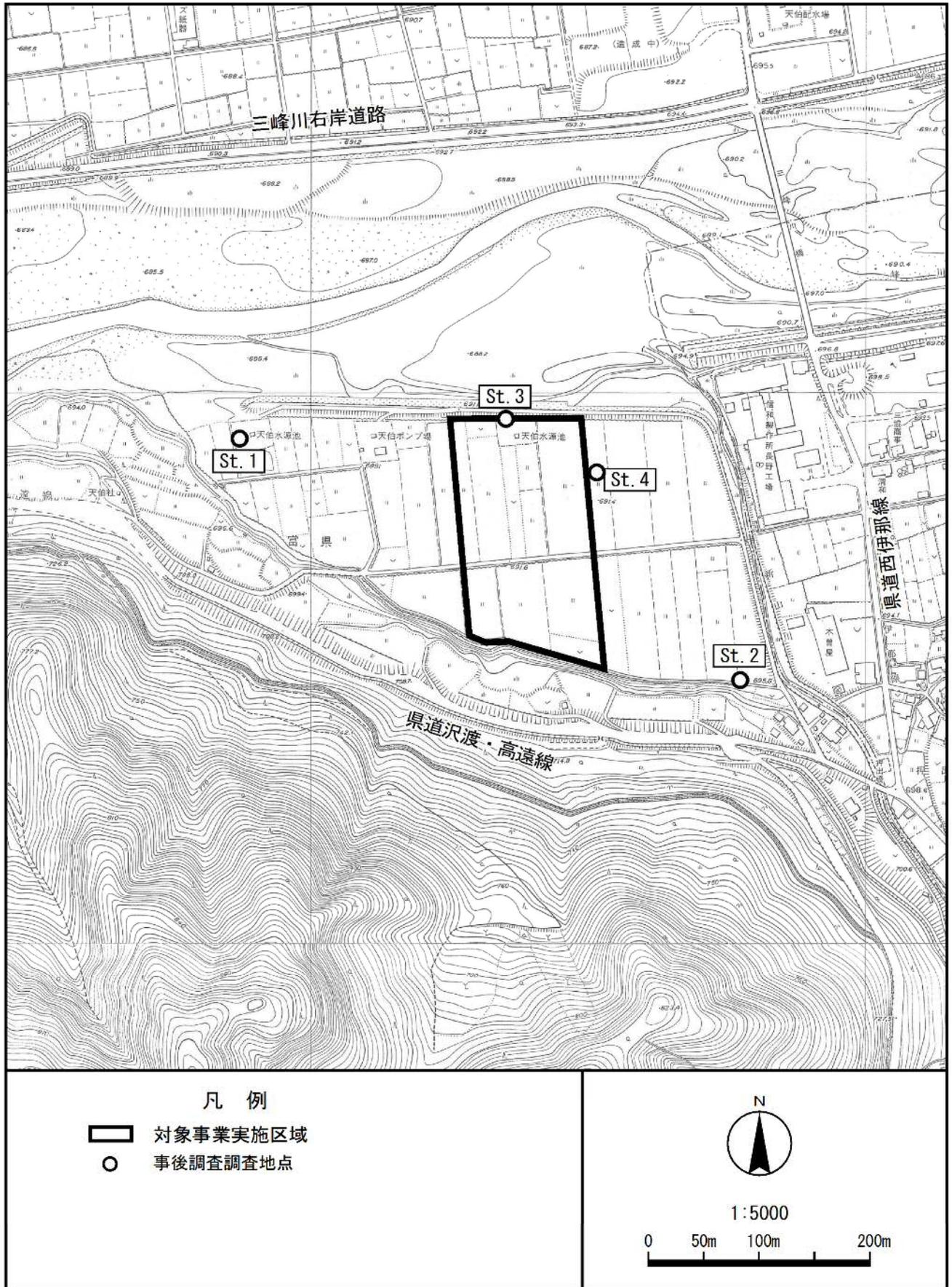


図 2.1.4-1 振動事後調査地点（工事中）

## 2) 調査結果

振動調査結果を表 2.1.4-4 に示す。事後調査結果の時間率振動レベル ( $L_{10}$ ) は全ての地点で 30dB 未満であり、環境影響評価現地調査結果と同様であった。

表 2.1.4-4 振動の事後調査結果

単位：dB

調査地点		事後調査結果	環境影響評価 現地調査結果
		$L_{10}$	$L_{10}$
周辺地点	St. 1	30 未満	30 未満
	St. 2	30 未満	30 未満
	St. 3	30 未満	30 未満
工事区域 境界地点	St. 4	30 未満	—

注) St. 4 では環境影響評価現地調査時には調査を行っていない。

## 3) 事後調査結果と環境影響評価予測結果・環境保全目標の比較

予測に用いた建設機械稼働台数と事後調査時の建設機械稼働台数の比較を表 2.1.4-5 に示す。

事後調査時の建設機械の稼働状況は、予測条件よりバックホウが 2 台、ラフタークレーンが 1 台少なく、クローラクレーンが 1 台多い状況であった。また、大型ブレーカの使用はなかった。ただし、予測にあたっては、環境影響の危険側を考慮して建設機械台数を多めに設定したことから、実際の稼働台数がやや少なかったことは妥当だと考える。

表 2.1.4-5 建設機械の予測条件と事後調査時稼働台数の比較

機械種別	予測条件		事後調査時 稼働台数
	台数	基準点振動 レベル (dB)	
バックホウ	4 台	53	2 台
大型ブレーカ	1 台	64	—
ラフタークレーン	3 台	55	2 台
クローラクレーン	2 台	55	3 台
コンクリートポンプ車	1 台	62	1 台

事後調査結果と環境影響評価結果及び環境保全目標の比較を表 2.1.4-6 に示す。

事後調査の結果は、すべての地点で予測結果より小さい値であった。これは基準点振動レベルが大きい大型ブレーカを実際の建設作業では使用しなかったこと、コンクリートポンプ車の振動は主に走行時に発生するが、実際の作業時は停車しているため大きな振動発生源とならなかったことなどが理由と考えられる。

また、St. 4 においては環境保全目標である「振動規制法に定められる特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準」を満足する結果であった。このため、工事に伴う振動の影響は生じていないものと考えられる。

表 2.1.4-6 事後調査結果と環境影響評価結果・環境保全目標との比較

単位：dB

調査地点		事後調査結果	環境影響評価 予測結果	環境保全目標 (L <sub>10</sub> )	
		L <sub>10</sub>	L <sub>10</sub>		
周辺地点	St. 1	30 未満	33	—	—
	St. 2	30 未満	33		
	St. 3	30 未満	45		
工事区域 境界地点	St. 4	30 未満	47	75 以下	特定建設作業 規制基準

注) 環境影響評価予測結果は躯体工事・プラント工事を対象にした予測結果の値

(3) 工事の実施中において事後調査の状況に応じて講じられる環境保全措置

表 2.1.4-2 に示すとおり、環境影響評価書に記載した環境保全措置は全て実施したこと及び事後調査の結果においても環境保全目標を満足していたことから、これらの環境保全措置は効果を発揮していたものとする。このため、追加の環境保全措置の検討は行わなかった。

## 2.1.5 動物

### (1) 事後調査計画の内容

#### 1) 種の保存法に指定されている猛禽類

新ごみ中間処理施設建設に係る環境影響評価では、方法書に対する知事意見を踏まえて種の保存法に指定されている猛禽類の営巣調査を平成 23 年及び平成 24 年に行っている。調査の結果、周辺 1km 圏内において猛禽類のものと推察される古巣などが確認されたが、種の保存法に指定されている猛禽類の繁殖利用は確認されなかった。

その後、関係機関が他事業に係る猛禽類調査を平成 27 年に実施したところ、新たに種の保存法に指定されているオオタカの繁殖が確認された。

本調査は、関係機関からの情報提供を受けてアセス調査後における対象事業実施区域周辺のオオタカの繁殖状況の変化を長野県へ報告し、平成 28 年（土木建築工事着手前）に引き続き、平成 29 年繁殖期（工事着手後）を対象に種の保存法に指定されている猛禽類のモニタリングを追加実施したものである。

工事による種の保存法に指定されている猛禽類への影響の事後調査は表 2.1.5-1 に示す内容で計画する。調査地点は対象事業実施区域及び営巣地を見渡せる三峰川右岸 1 地点とする。

表 2.1.5-1 種の保存法に指定されている猛禽類の事後調査計画（工事中）

調査項目	調査頻度	調査方法	調査地点
種の保存法に指定されている猛禽類	繁殖期 4回/年 4～7月（2日/月）	「猛禽類保護の進め方（改訂版）－特にイヌワシ、クマタカ、オオタカについて－」（平成24年12月、環境省）に基づく調査方法とし、双眼鏡及び望遠鏡を用いた定点調査、ならびに林内踏査（ビデオカメラによる無人撮影を併用）により、調査対象種の行動、性別、成長段階、個体の特徴などを記録	1地点 （営巣地を眺望できる地点）

#### 2) 環境保全措置の実施状況

環境影響評価書に記載した環境保全措置の内容及び過年度の実施状況を表 2.1.5-2 に示す。環境保全措置のうち、本年度に実施が必要となるものはなかった。

工事の施工中に新たに確認された種の保存法に指定されているオオタカの生息環境の保全のために表 2.1.5-3 に示す環境保全措置を追加し、実施した。

表 2.1.5-2 環境保全措置の内容及び実施状況(環境影響評価書の記載事項)

環境保全措置	環境保全措置の種類	環境保全措置の内容	環境保全措置の実施状況
注目すべき種の生息基盤 や個体の保全 【昆虫類】 ・ミヤマシジミ	最小化 ・ 代償	三峰川左岸堤防沿いの搬入路の整備に際しては、ミヤマシジミの生息環境(産卵場所や幼虫の食草となるコマツナギの生育地)の改変量を最小化する。 また、専門家の助言を受けながら、工事中の生息域外保全を行い、最終候補地等にコマツナギが生育する環境を復元した後、個体を移植する。	三峰川左岸堤防沿いの搬入路の整備に際しては、ミヤマシジミの生息環境(産卵場所や幼虫の食草となるコマツナギの生育地)の改変量を最小化した。 また、専門家の助言を受け、最終候補地等にコマツナギが生育する環境を復元した後、個体を移植した
注目すべき種の移植 【昆虫類】 ・ベニモンマダラ	代償	土地造成等の工事前に個体を採集し、最終候補地周辺のクサフジ等が生育する環境へ移植する。	平成 28 年 7 月に平成 27 年移植地及び周辺を対象に、ベニモンマダラの生息状況のモニタリングを行った。 調査の結果、平成 27 年移植地付近でベニモンマダラの成虫 1 個体が確認された。また周辺ではクサフジの生育する三峰川堤外地の草地で成虫 5 個体が確認された。
注目すべき種の個体の保全 【両生類・爬虫類】 ・アカハライモリ ・トノサマガエル 【昆虫類】 ・コオイムシ ・タイコウチ ・シロヘリツチカメムシ ・ミイデラゴミムシ ・ケシゲンゴロウ ・シジミガムシ ・コガムシ ・ガムシ ・ゲンジボタル 【底生動物】 ・ヒラマキミズマイマイ 【陸・淡水産貝類】 ・ヒラマキガイモドキ ・カタマメマイマイ	低減	工事における個体の損失を最小限にする。	平成 27 年 4 月より対象事業実施区域内の水田内に水を入れないようにすることで区域内の生息等を抑制し、工事における個体の損失を最小限とした。

【環境保全措置の種類】

回避：全部又は一部を行わないこと等により、影響を回避する。

最小化：実施規模又は程度を制限すること等により、影響を最小化する。

修正：影響を受けた環境を修復、回復又は復元すること等により、影響を修正する。

低減：継続的な保護又は維持活動を行うこと等により、影響を低減する。

代償：代用的な資源もしくは環境で置き換え、又は提供すること等により、影響を代償する。

表 2.1.5-3 環境保全措置の内容及び実施状況（オオタカの生息環境保全のための追加措置）

環境保全措置	環境保全措置の種類	環境保全措置の内容	環境保全措置の実施状況
工事車両の走行ルートの設定	回避	工事車両の走行ルートは、営巣地北側に近接する県道沢渡高遠線とせず、三峰川右岸道路とする。	工事関係者に指導・教育を行い、周知徹底及び管理を行った。
土木建築工事開始時期の配慮	回避	非繁殖期に工事を開始する。	平成 28 年秋より段階的に工事に着手した。
低騒音型機械の使用	最小化	建設機械は、低騒音型又は超低騒音型の建設機械を使用する。	低騒音型、超低騒音型の重機を使用し、騒音抑制を行った。
建設機械の稼働時間の遵守	最小化	早朝・夜間及び日曜日は、騒音を発生させる作業は原則実施しない。	工事時間は原則、月曜日～土曜日 8：00～17：00 とした。

【環境保全措置の種類】

回 避：全部又は一部を行わないこと等により、影響を回避する。

最小化：実施規模又は程度を制限すること等により、影響を最小化する。

修 正：影響を受けた環境を修復、回復又は復元すること等により、影響を修正する。

低 減：継続的な保護又は維持活動を行うこと等により、影響を低減する。

代 償：代用的な資源もしくは環境で置き換え、又は提供すること等により、影響を代償する。

(2) 事後調査結果

1) 種の保存法に指定されている猛禽類

① 調査実施状況

種の保存法に指定されている猛禽類の事後調査の調査期日は、表 2.1.5-4 に示すとおりである。

表 2.1.5-4 調査期日

項目	調査期日	調査期日の設定理由
種の保存法に指定されている猛禽類	第1回：平成29年4月10日～11日 第2回：平成29年5月 8日～ 9日 第3回：平成29年6月 6日～ 7日 第4回：平成29年7月11日～12日	繁殖期（抱卵期～巣外育雛期）



【事後調査（種の保存法に指定されている猛禽類）の実施状況】

## ② 調査結果

調査の結果、種の保存法に指定された猛禽類としてオオタカ1つがい（以下、「桜井ペア」とする）の営巣が確認された。

オオタカの確認状況を表2.1.5-5に示す。

平成29年の桜井ペアの使用巣は、表2.1.5-6に示すとおりであり、H27・28巣と同じ巣であった（以下、「H27-29巣」とする）。

調査月別の繁殖状況については、平成29年4月調査時にH27-29巣周辺での交尾や巣材運搬が確認され、5月調査時には巣上で成鳥・雌の抱卵する様子などが確認された。また、6月調査時には巣上で雛2個体が確認され、7月調査時には巣立ち後の幼鳥2個体が確認された。

桜井ペアの採食地は、営巣地付近や北側の三峰川河川敷、さらに北側の台地上であり、対象事業実施区域を利用する様子はみられなかった。

営巣中心域の目安となる巣立ち後の幼鳥の行動圏は、H27-29巣から約100m程度であった。

表2.1.5-5 オオタカ確認状況

調査回・調査日		確認例数	注目すべき行動	確認状況
第1回	H29.4.10～11	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交尾 : 6例</li> <li>・巣材運搬 : 1例</li> <li>・停留 : 8例</li> <li>・狩り : 1例</li> <li>・飛び出し : 5例</li> <li>・飛び込み : 6例</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H27・28巣周辺での停留や交尾、成鳥・雄による巣材運搬とハシブトガラスへの威嚇行動を確認</li> <li>・ H27・28巣に成鳥・雄が飛び込む様子を確認</li> <li>・ 成鳥・雄による三峰川河川敷や北側水田・斜面林での探餌や狩りを確認</li> </ul>
第2回	H29.5.8～9	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・餌運搬 : 1例</li> <li>・停留 : 3例</li> <li>・飛び出し : 2例</li> <li>・飛び込み : 2例</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成鳥・雄によるH27・28巣周辺での停留、餌運搬、ハシブトガラスへの威嚇行動を確認</li> <li>・ H27・28巣上で抱卵中の成鳥・雌を確認</li> </ul>
第3回	H29.6.6～7	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・餌運搬 : 1例</li> <li>・停留 : 12例</li> <li>・飛び出し : 6例</li> <li>・飛び込み : 13例</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H27-29巣周辺での停留を確認</li> <li>・ 成鳥・雄による餌運搬を確認</li> <li>・ H27-29巣上で雛2羽を確認 (幼羽が生え始めておらず、巣上を動く様子から孵化後2週目と推定)</li> </ul>
第4回	H29.7.11～12	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼鳥の行動 : 14例</li> <li>・餌運搬 : 2例</li> <li>・停留 : 6例</li> <li>・狩り : 4例</li> <li>・飛び出し : 6例</li> <li>・飛び込み : 7例</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H27-29巣周辺で巣立ち後の幼鳥(2個体)の停留、飛翔、鳴き声を確認</li> <li>・ 成鳥・雌による三峰川河川敷及び水田・北側斜面林での狩りや餌運搬を確認</li> </ul>

注：「確認例数」「注目すべき行動」は定点調査結果に基づく。「確認状況」は定点調査結果のほか、林内踏査結果を含む。



写真-オオタカ桜井ペア (交尾)  
(桜井、H29. 4. 10 撮影)



写真-オオタカ桜井ペア・雄 (巣材の運搬)  
(桜井、H29. 4. 10 撮影)



写真-オオタカ桜井ペア・雄 (停留)  
(桜井、H29. 4. 10 撮影)



写真-オオタカ桜井ペア・雌 (停留)  
(桜井、H29. 4. 10 撮影)



写真-オオタカ桜井ペア・雄 (飛翔)  
(桜井、H29. 4. 10 撮影)



写真-H27・28 巣へ飛び込むオオタカ桜井ペア・雄  
(桜井、H29. 4. 10 ビデオ映像抜粋)



写真-オオタカ桜井ペア・雄 (停留)  
(桜井、H29. 5. 8 撮影)



写真-抱卵中のオオタカ成鳥・雌  
(桜井、H29. 5. 8 ビデオ映像抜粋)



写真-巣上のオオタカ雛 (2 個体)  
(桜井、H29. 6. 6 ビデオ映像抜粋)



写真-オオタカ桜井ペア・雄 (餌運搬)  
(桜井、H29. 6. 6 撮影)



写真-オオタカ桜井ペア・雄 (停留)  
(桜井、H29. 6. 6 撮影)



写真-オオタカ桜井ペア・雌 (停留)  
(桜井、H29. 6. 7 撮影)



写真-オオタカ桜井ペア・雌 (狩り)  
(桜井、H29. 7. 12 撮影)



写真-オオタカ桜井ペア・雌 (餌運搬)  
(桜井、H29. 7. 12 撮影)



写真-オオタカ幼鳥 (停留)  
(桜井、H29. 7. 12 撮影)



写真-オオタカ幼鳥 (飛翔)  
(桜井、H29. 7. 12 撮影)

表 2.1.5-6 オオタカ巣諸元

種名	オオタカ (桜井ペア)	巣名	H27-29 巣
樹種	モミ	植生	スギ植林
樹高	約 20m	標高	約 730m
架巢高さ	約 15m	斜度	15°
胸高直径	50cm	斜面方位	N
巣の大きさ	長径 100×短径 70×厚さ 40cm	巣の向き	W



写真-オオタカ巣近景 (桜井、H29. 4. 10 撮影)



写真-オオタカ巣遠景 (桜井、H29. 4. 10 撮影)

### ③ オオタカへの影響及び環境保全措置について

オオタカ桜井ペアへの影響の予測結果（平成 28 年度事後調査結果に基づく）と工事着手後のモニタリング結果（本調査結果）との比較は、表 2.1.5-7 に示すとおりである。

表 2.1.5-7 影響の予測結果と工事着手後のモニタリング結果との比較

	結果
影響の予測結果	<p>オオタカ桜井ペアの繁殖利用が確認された H27-29 巣は、対象事業実施区域から尾根等を隔て位置しており、営巣林から対象事業実施区域を直接見通すことは出来ない状況にある。また、営巣中心域にあたる巣立ち後の幼鳥の行動が確認されたエリアについても、対象事業実施区域から尾根等を隔てて離れている。さらに、オオタカ桜井ペアが対象事業実施区域を利用する様子はみられず、一般に本種の採食地となる樹林や林縁環境も周辺に広く分布している。</p> <p>このほか、対象事業の実施に際しては、以下の環境保全措置を行う計画である。</p> <div style="background-color: #fce4d6; padding: 5px;"> <p><b>【工事中における環境保全措置】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事車両の走行ルートの設定（工事車両の走行ルートは、営巣地北側に近接する県道沢渡高遠線とせず、三峰川右岸道路とする。）</li> <li>・ 土木建築工事開始時期の配慮（非繁殖期（H28 年秋より段階的に工事を開始した。）</li> <li>・ 低騒音型機械の使用（建設機械は、低騒音型又は超低騒音型の建設機械を使用する。）</li> <li>・ 建設機械の稼働時間の遵守（早朝・夜間は、騒音を発生させる作業は原則実施しない。）</li> </ul> </div> <div style="background-color: #e2efda; padding: 5px;"> <p><b>【存在・供用時における環境保全措置】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごみ収集車両等の走行ルートの設定（周辺地区を除く市町村収集分及び市町村許可業者の車両等の走行ルートは、営巣地北側に近接する県道沢渡高遠線とせず、三峰川右岸道路とする。）</li> <li>・ 騒音発生機器の適切な防音措置（騒音発生機器は吸音材等で覆うなどの適切な防音措置を講じる。）</li> <li>・ 騒音発生の大い機器の屋内への設置（騒音発生の大いタービン・発電機、空気圧縮機は室内に設置することにより外部への騒音の伝搬を低減する。）</li> <li>・ 作業時間の厳守（騒音発生が大い作業は日中に行い、早朝、夜間には実施しない。）</li> <li>・ 機器類の定期的な管理（定期的に機械及び施設装置の点検を行い、異常の確認された機器類は速やかに修理、交換し、機器の異常による大きな騒音の発生を未然に防ぐ。）</li> <li>・ 周辺景観と調和する緑化の実施（施設外周部に周囲の景観に配慮した樹</li> </ul> </div> <p>以上より、対象事業の実施がオオタカ桜井ペアの繁殖に及ぼす影響は小さいものと考えられる。</p> <p>出典：「新ごみ中間処理施設建設に係る環境影響評価事後調査報告書」（平成 29 年 6 月、上伊那広域連合）</p>
比較結果	<p>対象事業については、影響の予測結果で示した保全措置を実施しつつ工事を進めている。また、オオタカ桜井ペアの営巣地や採餌地等は、工事着手前（平成 28 年繁殖期）と着手後（平成 29 年繁殖期）で大きく変化しておらず、対象事業による影響は生じていないものと考えられる。</p>

(3) 工事の実施中において事後調査の状況に応じて講じられる環境保全措置

調査の結果、種の保存法に指定されている猛禽類（オオタカ）の繁殖に対して工事の影響が生じていないと判断されること及び表 2.1.5-7 に示す環境保全措置は効果を発揮していたものと考えられることから、追加の環境保全措置の検討は行わなかった。



(様式第9号)(第51条の7、第54条の2、第55条関係)

30 上伊広連ご第33号

平成30年6月19日

事後調査報告書

長野県知事 阿部 守一 殿

住所 長野県伊那市荒井3500番地1

氏名 上伊那広域連合

広域連合長 白鳥 孝



長野県環境影響評価条例第31条第1項(長野県環境影響評価条例第40条第1項において準用する同条例第31条第1項)の規定により、下記のとおり送付します。

記

対象事業の名称	上伊那広域連合新ごみ中間処理施設整備事業
対象事業の種類	一般廃棄物処理施設(ごみ焼却施設)の建設
対象事業の規模	施設規模 118 t/日 (59 t/24 h × 2 炉)
対象事業実施区域	長野県伊那市富県 3790 番地ほか
関係地域の範囲	長野県伊那市
報告対象期間	平成 29 年 6 月 1 日から 平成 30 年 5 月 29 日まで
事後調査の状況	評価書に基づき事後調査を実施(詳細別紙)
環境の保全のための措置の状況	評価書に基づき環境保全措置を実施(詳細別紙)
対象事業の実施の完了後、対象事業に係る土地又は工作物において行われる事業活動その他の人の活動で当該対象事業の目的に含まれるものを引き継いだ場合にあっては、当該引き継いだ者の住所及び氏名(法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)	

(備考) 必要に応じ、事後調査の状況又は環境の保全のための措置の状況に係る図面又は写真を添付すること。

# 資 料 編



# 1. 大 氣 質 調 查 結 果

## (大氣質・地上気象)



# 調査結果一覽表 (NO)

調査地点：事後調査地点

調査期間：2018年3月21日～2018年3月27日

単位：ppm

時間	月日	3/21 (水)	3/22 (木)	3/23 (金)	3/24 (土)	3/25 (日)	3/26 (月)	3/27 (火)	調査数	平均値	最大値	最小値
1		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
2		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
3		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
4		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
5		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
6		0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.001	0.000
7		0.006	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	7	0.001	0.006	0.000
8		0.011	0.002	0.002	0.005	0.000	0.002	0.003	7	0.004	0.011	0.000
9		0.021	0.001	0.003	0.017	0.001	0.005	0.005	7	0.008	0.021	0.001
10		0.025	0.018	0.002	0.042	0.001	0.011	0.025	7	0.018	0.042	0.001
11		0.009	0.006	0.001	0.007	0.000	0.007	0.008	7	0.005	0.009	0.000
12		0.021	0.005	0.004	0.008	0.000	0.006	0.016	7	0.009	0.021	0.000
13		0.001	0.003	0.001	0.004	0.000	0.003	0.001	7	0.002	0.004	0.000
14		0.014	0.004	0.016	0.007	0.000	0.007	0.004	7	0.007	0.016	0.000
15		0.013	0.006	0.019	0.002	0.000	0.007	0.001	7	0.007	0.019	0.000
16		0.010	0.013	0.013	0.002	0.000	0.003	0.000	7	0.006	0.013	0.000
17		0.010	0.007	0.016	0.001	0.000	0.003	0.001	7	0.005	0.016	0.000
18		0.000	0.001	0.007	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.001	0.007	0.000
19		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
20		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
21		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
22		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
23		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
24		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	7	0.000	0.000	0.000
調査数		24	24	24	24	24	24	24	168	-	-	-
平均値		0.006	0.003	0.004	0.004	0.000	0.002	0.003	-	0.003	-	-
最大値		0.025	0.018	0.019	0.042	0.001	0.011	0.025	-	-	0.042	-
最小値		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-	-	-	0.000

「×」：欠測

# 調査結果一覽表 (NO<sub>2</sub>)

調査地点：事後調査地点

調査期間：2018年3月21日～2018年3月27日

単位：ppm

時間	月日	3/21 (水)	3/22 (木)	3/23 (金)	3/24 (土)	3/25 (日)	3/26 (月)	3/27 (火)	調査数	平均値	最大値	最小値
1		0.002	0.003	0.001	0.001	0.003	0.001	0.001	7	0.002	0.003	0.001
2		0.001	0.004	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	7	0.002	0.004	0.001
3		0.002	0.002	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	7	0.001	0.002	0.001
4		0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.002	0.001
5		0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.001	0.001
6		0.005	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.005	0.001
7		0.007	0.002	0.003	0.002	0.001	0.003	0.004	7	0.003	0.007	0.001
8		0.011	0.005	0.003	0.005	0.002	0.004	0.005	7	0.005	0.011	0.002
9		0.017	0.006	0.004	0.012	0.002	0.007	0.009	7	0.008	0.017	0.002
10		0.021	0.014	0.003	0.024	0.002	0.014	0.021	7	0.014	0.024	0.002
11		0.008	0.009	0.002	0.007	0.002	0.011	0.012	7	0.007	0.012	0.002
12		0.018	0.007	0.004	0.007	0.002	0.009	0.018	7	0.009	0.018	0.002
13		0.004	0.005	0.002	0.006	0.002	0.007	0.002	7	0.004	0.007	0.002
14		0.014	0.007	0.015	0.008	0.002	0.010	0.006	7	0.009	0.015	0.002
15		0.013	0.011	0.017	0.003	0.001	0.013	0.003	7	0.009	0.017	0.001
16		0.011	0.016	0.010	0.004	0.001	0.006	0.002	7	0.007	0.016	0.001
17		0.012	0.011	0.015	0.002	0.001	0.006	0.003	7	0.007	0.015	0.001
18		0.004	0.004	0.006	0.001	0.002	0.003	0.003	7	0.003	0.006	0.001
19		0.003	0.004	0.003	0.002	0.003	0.005	0.003	7	0.003	0.005	0.002
20		0.004	0.004	0.002	0.002	0.002	0.002	0.003	7	0.003	0.004	0.002
21		0.005	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.003	7	0.003	0.005	0.002
22		0.003	0.001	0.002	0.001	0.001	0.002	0.002	7	0.002	0.003	0.001
23		0.003	0.001	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	7	0.002	0.003	0.001
24		0.003	0.001	0.001	0.003	0.001	0.001	0.002	7	0.002	0.003	0.001
調査数		24	24	24	24	24	24	24	168	-	-	-
平均値		0.007	0.005	0.004	0.004	0.002	0.005	0.005	-	0.005	-	-
最大値		0.021	0.016	0.017	0.024	0.003	0.014	0.021	-	-	0.024	-
最小値		0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	-	-	-	0.001

「×」：欠測

# 調査結果一覧表 (NO<sub>x</sub>)

調査地点：事後調査地点

調査期間：2018年3月21日～2018年3月27日

単位：ppm

時間	月日	3/21 (水)	3/22 (木)	3/23 (金)	3/24 (土)	3/25 (日)	3/26 (月)	3/27 (火)	調査数	平均値	最大値	最小値
1		0.002	0.003	0.001	0.001	0.003	0.001	0.001	7	0.002	0.003	0.001
2		0.001	0.004	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	7	0.002	0.004	0.001
3		0.002	0.002	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	7	0.001	0.002	0.001
4		0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.002	0.001
5		0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.001	0.001	0.001
6		0.006	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	7	0.002	0.006	0.001
7		0.013	0.002	0.003	0.002	0.001	0.004	0.005	7	0.004	0.013	0.001
8		0.022	0.007	0.005	0.010	0.002	0.006	0.008	7	0.009	0.022	0.002
9		0.038	0.007	0.007	0.029	0.003	0.012	0.014	7	0.016	0.038	0.003
10		0.046	0.032	0.005	0.066	0.003	0.025	0.046	7	0.032	0.066	0.003
11		0.017	0.015	0.003	0.014	0.002	0.018	0.020	7	0.013	0.020	0.002
12		0.039	0.012	0.008	0.015	0.002	0.015	0.034	7	0.018	0.039	0.002
13		0.005	0.008	0.003	0.010	0.002	0.010	0.003	7	0.006	0.010	0.002
14		0.028	0.011	0.031	0.015	0.002	0.017	0.010	7	0.016	0.031	0.002
15		0.026	0.017	0.036	0.005	0.001	0.020	0.004	7	0.016	0.036	0.001
16		0.021	0.029	0.023	0.006	0.001	0.009	0.002	7	0.013	0.029	0.001
17		0.022	0.018	0.031	0.003	0.001	0.009	0.004	7	0.013	0.031	0.001
18		0.004	0.005	0.013	0.001	0.002	0.003	0.003	7	0.004	0.013	0.001
19		0.003	0.004	0.003	0.002	0.003	0.005	0.003	7	0.003	0.005	0.002
20		0.004	0.004	0.002	0.002	0.002	0.002	0.003	7	0.003	0.004	0.002
21		0.005	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.003	7	0.003	0.005	0.002
22		0.003	0.001	0.002	0.001	0.001	0.002	0.002	7	0.002	0.003	0.001
23		0.003	0.001	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	7	0.002	0.003	0.001
24		0.003	0.001	0.001	0.003	0.001	0.001	0.002	7	0.002	0.003	0.001
調査数		24	24	24	24	24	24	24	168	-	-	-
平均値		0.013	0.008	0.008	0.008	0.002	0.007	0.007	-	0.008	-	-
最大値		0.046	0.032	0.036	0.066	0.003	0.025	0.046	-	-	0.066	-
最小値		0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	-	-	-	0.001

「×」：欠測

# 調査結果一覽表 (SPM)

調査地点：事後調査地点

調査期間：2018年3月21日～2018年3月27日

単位：mg/m<sup>3</sup>

時間	月日	3/21 (水)	3/22 (木)	3/23 (金)	3/24 (土)	3/25 (日)	3/26 (月)	3/27 (火)	調査数	平均値	最大値	最小値
1		0.006	0.003	0.000	0.003	0.008	0.014	0.011	7	0.006	0.014	0.000
2		0.004	0.002	0.001	0.002	0.005	0.014	0.012	7	0.006	0.014	0.001
3		0.005	0.000	0.000	0.003	0.011	0.015	0.010	7	0.006	0.015	0.000
4		0.005	0.002	0.001	0.001	0.011	0.015	0.011	7	0.007	0.015	0.001
5		0.005	0.002	0.003	0.003	0.015	0.013	0.010	7	0.007	0.015	0.002
6		0.006	0.001	0.000	0.006	0.019	0.015	0.010	7	0.008	0.019	0.000
7		0.007	0.002	0.001	0.000	0.010	0.004	0.006	7	0.004	0.010	0.000
8		0.006	0.000	0.003	0.009	0.015	0.014	0.018	7	0.009	0.018	0.000
9		0.009	0.004	0.005	0.008	0.014	0.016	0.015	7	0.010	0.016	0.004
10		0.006	0.000	0.007	0.005	0.015	0.023	0.020	7	0.011	0.023	0.000
11		0.004	0.004	0.000	0.004	0.014	0.021	0.015	7	0.009	0.021	0.000
12		0.003	0.004	0.001	0.000	0.012	0.020	0.011	7	0.007	0.020	0.000
13		0.001	0.004	0.003	0.006	0.014	0.015	0.010	7	0.008	0.015	0.001
14		0.000	0.003	0.005	0.006	0.015	0.014	0.015	7	0.008	0.015	0.000
15		0.001	0.006	0.004	0.005	0.015	0.018	0.013	7	0.009	0.018	0.001
16		0.005	0.007	0.000	0.002	0.008	0.007	0.013	7	0.006	0.013	0.000
17		0.001	0.004	0.002	0.000	0.006	0.003	0.010	7	0.004	0.010	0.000
18		0.001	0.002	0.002	0.001	0.010	0.008	0.014	7	0.005	0.014	0.001
19		0.001	0.008	0.004	0.003	0.011	0.009	0.010	7	0.007	0.011	0.001
20		0.002	0.005	0.003	0.005	0.012	0.006	0.014	7	0.007	0.014	0.002
21		0.003	0.003	0.006	0.006	0.014	0.011	0.009	7	0.007	0.014	0.003
22		0.000	0.004	0.003	0.003	0.013	0.014	0.011	7	0.007	0.014	0.000
23		0.000	0.002	0.005	0.004	0.016	0.013	0.014	7	0.008	0.016	0.000
24		0.000	0.002	0.006	0.005	0.013	0.014	0.015	7	0.008	0.015	0.000
調査数		24	24	24	24	24	24	24	168	-	-	-
平均値		0.003	0.003	0.003	0.004	0.012	0.013	0.012	-	0.007	-	-
最大値		0.009	0.008	0.007	0.009	0.019	0.023	0.020	-	-	0.023	-
最小値		0.000	0.000	0.000	0.000	0.005	0.003	0.006	-	-	-	0.000

「×」：欠測

## 調査結果一覧表（温度）

調査地点：事後調査地点

調査期間：2018年 3月21日 ～ 2018年 3月27日

単位：℃

月日 時間	3/21 (水)	3/22 (木)	3/23 (金)	3/24 (土)	3/25 (日)	3/26 (月)	3/27 (火)	調査数	平均値	最大値	最小値
1	2.6	1.0	0.9	1.0	5.5	2.2	4.0	7	2.5	5.5	0.9
2	2.3	1.3	0.8	0.2	3.7	1.4	2.9	7	1.8	3.7	0.2
3	2.3	1.1	0.6	-0.3	2.9	0.8	2.6	7	1.4	2.9	-0.3
4	2.3	1.1	-0.1	-0.4	1.2	0.5	2.4	7	1.0	2.4	-0.4
5	2.4	1.4	-0.1	-0.9	0.4	0.3	1.9	7	0.8	2.4	-0.9
6	2.2	1.2	-0.4	-1.2	0.3	-0.6	1.8	7	0.5	2.2	-1.2
7	1.3	1.4	-0.2	-0.3	0.4	0.4	2.5	7	0.8	2.5	-0.3
8	1.6	2.0	2.5	2.7	4.0	4.5	6.8	7	3.4	6.8	1.6
9	1.3	2.1	6.2	4.9	8.6	7.3	10.3	7	5.8	10.3	1.3
10	1.0	3.6	8.6	7.0	10.6	9.5	12.9	7	7.6	12.9	1.0
11	0.7	5.3	10.6	9.5	12.3	12.7	14.6	7	9.4	14.6	0.7
12	0.7	6.8	12.0	10.7	13.7	16.1	17.1	7	11.0	17.1	0.7
13	0.8	7.1	13.0	12.8	15.5	18.2	18.2	7	12.2	18.2	0.8
14	0.9	7.0	13.8	14.1	16.5	19.9	19.7	7	13.1	19.9	0.9
15	1.1	6.9	13.1	13.6	17.8	21.2	19.0	7	13.2	21.2	1.1
16	1.2	7.9	10.9	13.0	17.2	21.0	19.2	7	12.9	21.0	1.2
17	1.6	6.6	9.8	12.2	15.2	19.3	17.6	7	11.8	19.3	1.6
18	1.4	6.7	8.5	11.1	11.6	17.0	16.1	7	10.3	17.0	1.4
19	1.3	4.8	7.2	9.8	8.8	11.3	13.0	7	8.0	13.0	1.3
20	1.4	4.5	6.5	6.9	6.6	9.2	9.6	7	6.4	9.6	1.4
21	1.1	3.0	5.6	4.5	5.5	8.7	7.4	7	5.1	8.7	1.1
22	1.0	2.3	4.7	3.8	4.6	6.9	6.7	7	4.3	6.9	1.0
23	1.1	1.8	3.2	3.9	3.5	5.9	5.5	7	3.6	5.9	1.1
24	1.4	1.4	2.1	5.2	2.8	4.9	4.9	7	3.2	5.2	1.4
調査数	24	24	24	24	24	24	24	-	-	-	-
平均値	1.5	3.7	5.8	6.0	7.9	9.1	9.9	-	6.3	-	-
最大値	2.6	7.9	13.8	14.1	17.8	21.2	19.7	-	-	21.2	-
最小値	0.7	1.0	-0.4	-1.2	0.3	-0.6	1.8	-	-	-	-1.2

「×」：欠測

## 調査結果一覧表（湿度）

調査地点：事後調査地点

調査期間：2018年 3月21日 ～ 2018年 3月27日

単位：%

月日 時間	3/21 (水)	3/22 (木)	3/23 (金)	3/24 (土)	3/25 (日)	3/26 (月)	3/27 (火)	調査数	平均値	最大値	最小値
1	76.5	95.5	94.4	88.1	50.4	79.3	77.1	7	80.2	95.5	50.4
2	84.0	95.0	94.1	90.1	61.3	82.9	81.5	7	84.1	95.0	61.3
3	85.2	95.6	93.5	91.9	65.6	84.8	81.5	7	85.4	95.6	65.6
4	87.2	95.8	95.2	92.2	76.6	85.1	81.7	7	87.7	95.8	76.6
5	86.4	94.7	94.3	92.9	79.7	85.6	83.8	7	88.2	94.7	79.7
6	82.1	95.9	94.3	93.1	78.6	89.2	84.0	7	88.2	95.9	78.6
7	87.3	96.1	93.0	90.1	77.7	85.1	82.4	7	87.4	96.1	77.7
8	86.8	93.9	85.0	77.8	61.2	68.1	64.9	7	76.8	93.9	61.2
9	90.0	94.5	70.9	68.2	43.9	56.2	52.4	7	68.0	94.5	43.9
10	92.2	92.3	59.5	61.7	30.1	52.8	46.2	7	62.1	92.3	30.1
11	93.5	84.5	47.1	54.3	28.4	46.7	43.7	7	56.9	93.5	28.4
12	94.9	80.7	38.4	42.0	25.7	34.4	33.4	7	49.9	94.9	25.7
13	93.8	81.4	35.2	31.8	23.1	25.7	27.9	7	45.6	93.8	23.1
14	92.5	86.4	36.4	31.4	24.2	24.4	28.0	7	46.2	92.5	24.2
15	89.7	93.8	39.1	27.5	20.3	23.4	28.6	7	46.1	93.8	20.3
16	89.9	91.6	45.5	26.5	19.3	21.7	30.6	7	46.4	91.6	19.3
17	87.2	91.8	50.6	25.2	24.0	20.9	31.1	7	47.3	91.8	20.9
18	88.8	86.9	54.1	22.3	43.6	26.5	32.0	7	50.6	88.8	22.3
19	89.0	92.4	58.7	26.4	55.8	51.4	39.2	7	59.0	92.4	26.4
20	89.9	92.1	61.3	41.4	66.7	58.1	55.5	7	66.4	92.1	41.4
21	92.8	94.9	65.1	56.7	69.0	57.8	64.9	7	71.6	94.9	56.7
22	94.6	94.5	69.4	59.7	70.9	67.3	64.1	7	74.4	94.6	59.7
23	93.1	93.8	80.1	56.3	75.7	71.8	68.4	7	77.0	93.8	56.3
24	92.7	93.9	84.0	50.0	77.1	75.0	70.8	7	77.6	93.9	50.0
調査数	24	24	24	24	24	24	24	-	-	-	-
平均値	89.2	92.0	68.3	58.2	52.0	57.3	56.4	-	67.6	-	-
最大値	94.9	96.1	95.2	93.1	79.7	89.2	84.0	-	-	96.1	-
最小値	76.5	80.7	35.2	22.3	19.3	20.9	27.9	-	-	-	19.3

「×」：欠測

## 調査結果一覧表（風速）

調査地点：事後調査地点

調査期間：2018年 3月21日 ～ 2018年 3月27日

単位： m/s

月日 時間	3/21 (水)	3/22 (木)	3/23 (金)	3/24 (土)	3/25 (日)	3/26 (月)	3/27 (火)	調査数	平均値	最大値	最小値
1	0.3	0.9	2.8	1.6	0.6	2.8	2.8	7	1.7	2.8	0.3
2	0.4	1.1	2.5	2.0	1.0	2.2	1.9	7	1.6	2.5	0.4
3	0.5	1.1	2.3	2.1	1.3	2.2	1.9	7	1.6	2.3	0.5
4	0.9	1.6	2.5	2.0	1.9	1.9	2.2	7	1.9	2.5	0.9
5	0.4	1.0	2.7	1.4	1.5	2.4	2.0	7	1.6	2.7	0.4
6	1.7	0.8	1.6	1.6	2.2	1.3	1.7	7	1.6	2.2	0.8
7	2.9	1.3	1.8	1.2	2.4	1.9	1.7	7	1.9	2.9	1.2
8	1.9	1.5	1.0	0.4	2.0	0.4	0.4	7	1.1	2.0	0.4
9	2.7	1.7	0.8	1.7	1.6	0.9	0.4	7	1.4	2.7	0.4
10	3.0	1.5	0.6	2.0	1.2	2.0	1.7	7	1.7	3.0	0.6
11	3.5	0.8	1.1	2.8	1.4	2.6	2.0	7	2.0	3.5	0.8
12	2.7	1.3	1.2	3.3	1.1	2.6	3.2	7	2.2	3.3	1.1
13	2.8	1.5	1.4	3.0	1.1	2.7	2.5	7	2.1	3.0	1.1
14	3.1	1.3	3.3	2.8	1.2	2.7	2.1	7	2.4	3.3	1.2
15	3.7	0.7	4.6	2.2	1.8	1.4	1.7	7	2.3	4.6	0.7
16	3.6	0.5	4.8	2.0	1.9	1.2	1.8	7	2.3	4.8	0.5
17	3.2	0.6	4.6	2.3	1.0	1.1	1.4	7	2.0	4.6	0.6
18	2.7	1.9	4.3	1.9	0.8	1.0	1.5	7	2.0	4.3	0.8
19	2.7	1.7	3.7	1.7	0.7	1.0	1.0	7	1.8	3.7	0.7
20	1.5	1.1	1.9	1.3	2.1	2.5	0.8	7	1.6	2.5	0.8
21	0.8	1.8	1.9	1.3	2.8	3.1	1.9	7	1.9	3.1	0.8
22	1.0	2.7	1.9	1.9	3.0	2.8	2.8	7	2.3	3.0	1.0
23	1.1	2.8	1.1	0.7	2.4	2.7	2.5	7	1.9	2.8	0.7
24	0.7	2.3	2.1	1.0	2.5	2.6	3.2	7	2.1	3.2	0.7
調査数	24	24	24	24	24	24	24	-	-	-	-
平均値	2.0	1.4	2.4	1.8	1.6	2.0	1.9	-	1.9	-	-
最大値	3.7	2.8	4.8	3.3	3.0	3.1	3.2	-	-	4.8	-
最小値	0.3	0.5	0.6	0.4	0.6	0.4	0.4	-	-	-	0.3

「×」：欠測

## 調査結果一覧表（風向）

調査地点：事後調査地点

調査期間：2018年 3月21日 ～ 2018年 3月27日

単位： 16方位

月日 時間	3/21 (水)	3/22 (木)	3/23 (金)	3/24 (土)	3/25 (日)	3/26 (月)	3/27 (火)	調査数
1	ENE	SE	SE	SSE	E	SE	SE	7
2	S	NNE	SE	SE	ESE	SE	SE	7
3	S	SE	SE	SE	SSE	SE	SE	7
4	SSE	SE	SSE	SE	SSE	SE	SE	7
5	S	S	SE	SE	SE	SE	SE	7
6	NNE	SSE	SE	SE	SE	SE	SE	7
7	NNE	S	SE	SE	SE	SE	SE	7
8	NNE	SE	SE	SE	ESE	SE	SSE	7
9	NE	SE	ENE	NNE	E	NE	NNE	7
10	NNE	SSE	E	NE	NE	NE	NNE	7
11	NNE	NNE	E	NNE	NNE	NE	NE	7
12	NE	N	SSE	NE	NNE	NNE	NE	7
13	NE	NE	NE	NE	N	NE	NE	7
14	NE	SE	NNE	NNE	E	NE	NE	7
15	NE	SSE	NE	SE	NNE	NNE	SE	7
16	NE	ENE	NNE	SE	ENE	E	SE	7
17	NE	SSE	NNE	SSE	E	SE	ESE	7
18	NE	SE	NNE	SSE	SSE	SE	SE	7
19	NE	S	NNE	S	SSE	SSE	SE	7
20	NE	S	NNE	SSE	SE	SE	SSE	7
21	NE	SSE	NNE	SSE	SE	SE	SE	7
22	SE	SE	NE	SE	SE	SE	SE	7
23	S	SE	SE	SSE	SE	SE	SE	7
24	SSE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	7
調査数	24	24	24	24	24	24	24	168

「×」：欠測

## 2.騒音・振動調査結果



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理業務委託

測定内容：騒音調査

測定地点：環境騒音・振動調査地点(St.1)

測定期間：平成30年 3月27日

測定日	時間区分	観測時間	等価騒音レベル(dB)		時間率騒音レベル(dB)					平均騒音レベル(dB)			削除音		
			LAeq平均	LAeq	LA5	LA50	LA95	LAmx	LAmn	LA5平均	LA95平均	Lmax平均			
3月27日	昼間	7:00～8:00	46.2	49	45	43	60	41	47.0	50	45	42	63	鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)	
		8:00～9:00	48.2	52	46	43	67	41							鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		9:00～10:00	48.6	53	47	43	71	41							鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		10:00～11:00	46.7	51	45	41	63	39							鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		11:00～12:00	47.8	52	46	43	69	41							鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		12:00～13:00	43.0	47	42	39	58	36							航空機騒音、鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		13:00～14:00	48.1	53	46	43	64	39							鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		14:00～15:00	47.9	52	46	43	65	41							鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		15:00～16:00	45.2	49	44	41	62	38							鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		16:00～17:00	48.0	52	47	44	64	41							鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		17:00～18:00	46.1	49	46	43	62	40							航空機騒音、鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		18:00～19:00	45.8	47	46	44	56	42							航空機騒音

\*1 時間区分は、「騒音に係る環境基準」に準拠しました。

\*2 各騒音レベルの平均は、等価騒音レベルがエネルギー平均、時間率騒音レベルが算術平均としました。

業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理業務委託

測定内容：騒音調査

測定地点：環境騒音・振動調査地点(St.2)

測定期間：平成30年 3月27日

測定日	時間区分	観測時間	等価騒音レベル(dB)		時間率騒音レベル(dB)					平均騒音レベル(dB)			削除音	
			LAeq	LAeq平均	LA5	LA50	LA95	LAmix	LAmix	LA50平均	LA95平均	Lmax		平均
3月27日	昼間	7:00～8:00	46.1		52	40	37	71	34					鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		8:00～9:00	47.3		53	44	37	67	34					鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		9:00～10:00	50.2		55	48	43	67	38					鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		10:00～11:00	47.6		53	44	37	67	35					鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		11:00～12:00	51.4		55	50	46	73	40					鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		12:00～13:00	42.0	47.8	47	39	35	63	32	51	43	39	65	航空機騒音、鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		13:00～14:00	49.3		54	47	43	70	35					鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		14:00～15:00	49.2		54	47	42	70	38					鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		15:00～16:00	45.7		51	42	36	65	34					鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		16:00～17:00	49.6		54	47	42	70	37					鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		17:00～18:00	38.6		43	37	34	54	32					航空機騒音、鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		18:00～19:00	37.9		41	37	35	46	33					航空機騒音

\*1 時間区分は、「騒音に係る環境基準」に準拠しました。

\*2 各騒音レベルの平均は、等価騒音レベルがエネルギー平均、時間率騒音レベルが算術平均としました。

業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理業務委託

測定内容：騒音調査

測定地点：環境騒音・振動調査地点(St.3)

測定期間：平成30年 3月27日

測定日	時間区分	観測時間	等価騒音レベル(dB)		時間率騒音レベル(dB)					平均騒音レベル(dB)			削除音	
			LAeq	LAeq平均	LA5	LA50	LA95	LAmix	LAmix	LA50平均	LA95平均	Lmax		平均
3月27日	昼間	7:00～8:00	50.5		54	50	48	68	47					
		8:00～9:00	54.1		59	50	47	74	45					
		9:00～10:00	55.3		60	51	47	81	44					
		10:00～11:00	53.4		59	48	42	78	40					鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		11:00～12:00	54.1		59	51	47	79	44					
		12:00～13:00	46.3	52.6	51	42	39	73	35			43	73	航空機騒音、鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		13:00～14:00	54.3		59	49	42	78	38			48		鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		14:00～15:00	53.4		57	49	46	75	45					
		15:00～16:00	49.3		54	46	40	72	37					
		16:00～17:00	54.7		59	52	46	73	43					
		17:00～18:00	48.5		53	43	38	71	35					航空機騒音、鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)
		18:00～19:00	42.7		45	42	39	56	37					航空機騒音

\*1 時間区分は、「騒音に係る環境基準」に準拠しました。

\*2 各騒音レベルの平均は、等価騒音レベルがエネルギー平均、時間率騒音レベルが算術平均としました。

業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理業務委託

測定内容：騒音調査

測定地点：敷地境界(St. 4)

測定期間：平成30年 3月27日

測定日	時間区分	観測時間	等価騒音レベル(dB)		時間率騒音レベル(dB)					平均騒音レベル(dB)			削除音	
			LAeq	LAeq平均	LA5	LA50	LA95	LAmx	LAmn	LA5平均	LA50平均	LA95平均		Lmax
3月27日	昼間	7:00～8:00	43.5		46	43	41	54	40					鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)  鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)  航空機騒音、鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)  鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)  航空機騒音、鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)  鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)  航空機騒音、鳥の声 (断続的かつレベルの大きいものに限る。)  航空機騒音
		8:00～9:00	61.2		65	50	42	91	40					
		9:00～10:00	68.3		67	56	50	102	43					
		10:00～11:00	62.0		64	50	41	95	39					
		11:00～12:00	68.2		68	59	52	102	43					
		12:00～13:00	44.2	63.2	47	41	38	74	36		50	45	84	
		13:00～14:00	65.1		67	57	51	98	43					
		14:00～15:00	64.3		66	57	50	95	44					
		15:00～16:00	55.7		60	50	43	85	40					
		16:00～17:00	63.4		64	56	50	96	46					
		17:00～18:00	46.7		53	43	39	66	37					
		18:00～19:00	42.3		45	42	40	48	38					

\*1 時間区分は、「騒音に係る環境基準」に準拠しました。

\*2 各騒音レベルの平均は、等価騒音レベルがエネルギー平均、時間率騒音レベルが算術平均としました。

業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理業務委託

測定内容：振動調査

測定地点：環境騒音・振動調査地点 (St.1)

測定期間：平成30年 3月27日

測定日	時間区分	観測時間	時間率振動レベル (dB)						時間帯平均 (dB)				削除データ
			L10	L50	L90	Lmax	Lmin	L10平均	L50平均	L90平均	Lmax平均		
3月27日	昼間	7:00~8:00	11	10	9	15	6	12	10	9	17	測定者の作業振動	
		8:00~9:00	12	10	9	18	6					測定者の作業振動	
		9:00~10:00	12	10	9	23	7					測定者の作業振動	
		10:00~11:00	12	11	9	22	6					測定者の作業振動	
		11:00~12:00	12	11	10	16	7					測定者の作業振動	
		12:00~13:00	12	10	9	15	6					測定者の作業振動	
		13:00~14:00	12	11	10	18	7					測定者の作業振動	
		14:00~15:00	12	11	10	17	7					測定者の作業振動	
		15:00~16:00	12	10	9	15	6					測定者の作業振動	
		16:00~17:00	12	11	10	17	7					測定者の作業振動	
17:00~18:00	12	10	9	15	6	測定者の作業振動							
18:00~19:00	12	10	9	18	6	測定者の作業振動							

\*1 今回の測定結果は、実測値を記載しました。振動の下限値は25dBですので、25dBより小さい結果につきましては、証明書発行の際の記載は25dB未満となります。

\*2 時間区分は、騒音と同様としました。

\*3 時間率振動レベルの平均は、算術平均としました。

業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理業務委託

測定内容：振動調査

測定地点：環境騒音・振動調査地点 (St.2)

測定期間：平成30年 3月27日

測定日	時間区分	観測時間	時間率振動レベル (dB)					時間帯平均 (dB)				削除データ
			L10	L50	L90	Lmax	Lmin	L10平均	L50平均	L90平均	Lmax平均	
3月27日	昼間	7:00~8:00	13	12	10	25	8	14	12	11	24	測定者の作業振動
		8:00~9:00	14	12	11	26	9					測定者の作業振動
		9:00~10:00	13	12	10	25	7					測定者の作業振動
		10:00~11:00	14	12	11	24	7					
		11:00~12:00	14	13	12	23	9					
		12:00~13:00	13	11	10	25	7					
		13:00~14:00	14	13	11	24	9					
		14:00~15:00	14	12	11	23	8					
		15:00~16:00	14	12	10	22	8					
		16:00~17:00	14	13	11	26	9					
		17:00~18:00	13	11	10	21	8					
		18:00~19:00	13	12	10	21	8					

\*1 今回の測定結果は、実測値を記載しました。振動の下限値は25dBですので、25dBより小さい結果につきましては、証明書発行の際の記載は25dB未満となります。

\*2 時間区分は、騒音と同様としました。

\*3 時間率振動レベルの平均は、算術平均としました。

業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理業務委託

測定内容：振動調査

測定地点：環境騒音・振動調査地点(St.3)

測定期間：平成30年 3月27日

測定日	時間区分	観測時間	時間率振動レベル(dB)						時間帯平均(dB)				削除データ
			L10	L50	L90	Lmax	Lmin	L10平均	L50平均	L90平均	Lmax平均		
3月27日	昼間	7:00~8:00	20	14	11	47	7	17	14	12	45	測定者の作業振動	
		8:00~9:00	18	15	13	42	12					測定者の作業振動	
		9:00~10:00	17	15	14	40	11					測定者の作業振動	
		10:00~11:00	17	12	10	44	7					測定者の作業振動	
		11:00~12:00	19	16	14	47	12					測定者の作業振動	
		12:00~13:00	14	11	9	49	7					測定者の作業振動	
		13:00~14:00	19	16	13	50	8					測定者の作業振動	
		14:00~15:00	18	16	14	50	12					測定者の作業振動	
		15:00~16:00	15	12	10	44	7					測定者の作業振動	
		16:00~17:00	18	15	13	47	10					測定者の作業振動	
		17:00~18:00	16	11	9	44	6					測定者の作業振動	
		18:00~19:00	11	10	8	38	5					測定者の作業振動	

\*1 今回の測定結果は、実測値を記載しました。振動の下限値は25dBですので、25dBより小さい結果につきましては、証明書発行の際の記載は25dB未満となります。

\*2 時間区分は、騒音と同様としました。

\*3 時間率振動レベルの平均は、算術平均としました。

業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理業務委託

測定内容：振動調査

測定地点：敷地境界 (St. 4)

測定期間：平成30年 3月27日

測定日	時間区分	観測時間	時間率振動レベル (dB)						時間帯平均 (dB)			削除データ
			L10	L50	L90	Lmax	Lmin	L10平均	L50平均	L90平均	Lmax平均	
3月27日	昼間	7:00~8:00	17	16	15	24	14	27	21	18	47	測定者の作業振動
		8:00~9:00	25	17	16	63	14					測定者の作業振動
		9:00~10:00	31	24	19	63	15					測定者の作業振動
		10:00~11:00	30	19	16	55	14					測定者の作業振動
		11:00~12:00	38	30	23	57	16					測定者の作業振動
		12:00~13:00	19	17	16	41	14					測定者の作業振動
		13:00~14:00	35	27	22	54	17					測定者の作業振動
		14:00~15:00	34	25	20	56	15					測定者の作業振動
		15:00~16:00	29	20	17	53	14					測定者の作業振動
		16:00~17:00	36	26	21	57	16					測定者の作業振動
		17:00~18:00	18	16	15	23	14					測定者の作業振動
		18:00~19:00	16	15	15	21	14					測定者の作業振動

\*1 今回の測定結果は、実測値を記載しました。振動の下限値は25dBですので、25dBより小さい結果につきましては、証明書発行の際の記載は25dB未満となります。

\*2 時間区分は、騒音と同様としました。

\*3 時間率振動レベルの平均は、算術平均としました。

### 3. 工事の実施状況



騒音振動調査時の建設作業実施状況(平成30年3月27日)

1. 建設作業実施位置図



● : 騒音振動調査地点  
● : 大気質調査地点

2. 建設作業機械等

1) 建設作業機械の稼働状況

位置図No.	機械種類	写真①	写真②
①	ラフターレーンクレーン		
②	クローラクレーン		
③	クローラクレーン		

④	ラフターレーンクレーン		
⑤	クロールクレーン		
⑥	バックホウSH125		

⑦	クローラクレーン		
---	----------	---	--

2) 建設作業の内容

位置図No.	作業内容	写真①	写真②
A	<p>バックホウで、トラックに砂利を積み作業が行われていた。その後、砂利を積んだトラックを配置図Bの場所へ移動し、砂利を降ろした後、配置図Aの場所に戻り、再度、バックホウで砂利を積んでいた。この流れの作業を繰り返して行った。トラックの稼働は1台のみだった。</p>		
B	<p>配置図Bの場所でトラックから砂利を降ろす作業が行われていた。砂利を降ろしたトラックは、配置図Aの場所に戻り、再度、バックホウで砂利を積んでいた。この流れの作業を繰り返して行った。配置図Bの周辺で別のバックホウが稼働していた。</p>		

## 4. 現地調査写真集



# 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
観測機器設置前

調査日：平成30年3月20日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
観測機器設置前

調査日：平成30年3月20日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
観測機器設置前

調査日：平成30年3月20日

## 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
電源使用前

調査日：平成30年3月20日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
電源使用前

調査日：平成30年3月20日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
地上気象  
機器設置後

調査日：平成30年3月20日

# 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
地上気象  
機器設置後

調査日：平成30年3月20日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
大気質濃度  
機器設置後

調査日：平成30年3月20日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
大気質濃度  
機器設置後

調査日：平成30年3月20日

## 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営  
事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
大気質濃度  
機器設置後

調査日：平成30年3月20日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営  
事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
大気質濃度  
機器設置後

調査日：平成30年3月20日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営  
事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
大気質濃度  
機器設置後

調査日：平成30年3月20日

# 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営  
事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
電源  
機器設置後

調査日：平成30年3月20日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営  
事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
電源  
機器設置後

調査日：平成30年3月20日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営  
事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
電源  
機器設置後

調査日：平成30年3月20日

# 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営  
事業に係る設計施工監理等業務

---

調査地点：事後調査地点

---

調査項目：大気質調査  
地上気象  
調査中

---

調査日：平成30年3月21日  
～平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営  
事業に係る設計施工監理等業務

---

調査地点：事後調査地点

---

調査項目：大気質調査  
地上気象  
調査中

---

調査日：平成30年3月21日  
～平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営  
事業に係る設計施工監理等業務

---

調査地点：事後調査地点

---

調査項目：大気質調査  
温度、湿度  
調査中

---

調査日：平成30年3月21日  
～平成30年3月27日

# 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
温度、湿度  
調査中

調査日：平成30年3月21日  
～平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
大気質濃度  
調査中

調査日：平成30年3月21日  
～平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
大気質濃度  
調査中

調査日：平成30年3月21日  
～平成30年3月27日

## 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
大気質濃度  
調査中

調査日：平成30年3月21日  
～平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
大気質濃度  
調査中

調査日：平成30年3月21日  
～平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
大気質濃度  
調査中

調査日：平成30年3月21日  
～平成30年3月27日

# 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
大気質濃度  
調査中

調査日：平成30年3月21日  
～平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
観測機器撤去後

調査日：平成30年3月28日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
観測機器撤去後

調査日：平成30年3月28日

# 調査写真

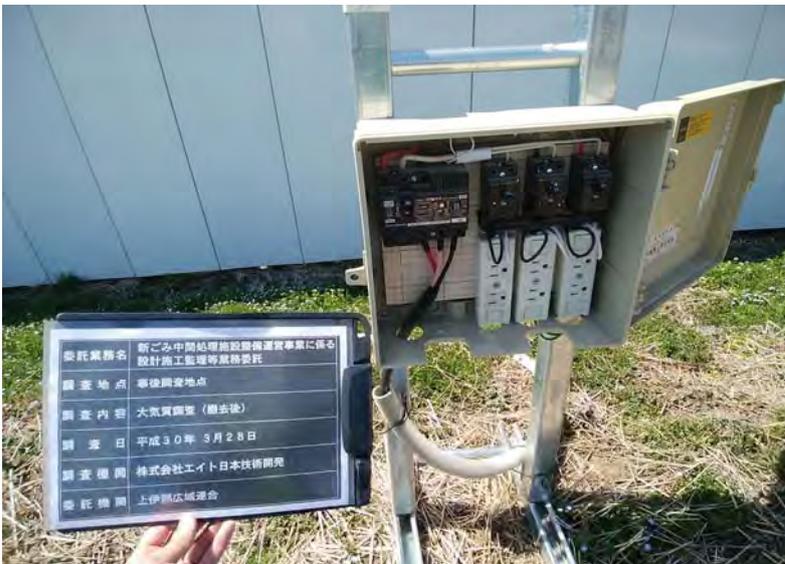


業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
観測機器撤去後

調査日：平成30年3月28日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
電源使用后

調査日：平成30年3月28日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：事後調査地点

調査項目：大気質調査  
電源使用后

調査日：平成30年3月28日

# 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点1 St.2

調査項目：騒音・振動調査  
調査機器設置前

調査日：平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点1 St.2

調査項目：騒音・振動調査  
調査機器設置前

調査日：平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点1 St.2

調査項目：騒音・振動調査  
調査機器設置前

調査日：平成30年3月27日

# 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点2 St.3

調査項目：騒音・振動調査  
調査機器設置前

調査日：平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点2 St.3

調査項目：騒音・振動調査  
調査機器設置前

調査日：平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点2 St.3

調査項目：騒音・振動調査  
調査機器設置前

調査日：平成30年3月27日

# 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点3 St.1

調査項目：騒音・振動調査  
調査機器設置前

調査日：平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点3 St.1

調査項目：騒音・振動調査  
調査機器設置前

調査日：平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点3 St.1

調査項目：騒音・振動調査  
調査機器設置前

調査日：平成30年3月27日

# 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：対象事業実施区域敷地境界 St.4

調査項目：騒音・振動調査  
調査機器設置前

調査日：平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：対象事業実施区域敷地境界 St.4

調査項目：騒音・振動調査  
調査機器設置前

調査日：平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：対象事業実施区域敷地境界 St.4

調査項目：騒音・振動調査  
調査機器設置前

調査日：平成30年3月27日

# 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営  
事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点1  
St.2

調査項目：騒音・振動調査  
調査中

調査日：平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営  
事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点1  
St.2

調査項目：騒音・振動調査  
調査中

調査日：平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営  
事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点1  
St.2

調査項目：騒音・振動調査  
調査中

調査日：平成30年3月27日

# 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点2 St.3

調査項目：騒音・振動調査  
調査中

調査日：平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点2 St.3

調査項目：騒音・振動調査  
調査中

調査日：平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点2 St.3

調査項目：騒音・振動調査  
調査中

調査日：平成30年3月27日

## 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点3  
St.1

調査項目：騒音・振動調査  
調査中

調査日：平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点3  
St.1

調査項目：騒音・振動調査  
調査中

調査日：平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点3  
St.1

調査項目：騒音・振動調査  
調査中

調査日：平成30年3月27日

# 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：対象事業実施区域敷地境界 St.4

調査項目：騒音・振動調査  
調査中

調査日：平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：対象事業実施区域敷地境界 St.4

調査項目：騒音・振動調査  
調査中

調査日：平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：対象事業実施区域敷地境界 St.4

調査項目：騒音・振動調査  
調査中

調査日：平成30年3月27日

## 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点1  
St.2

調査項目：騒音・振動調査  
調査機器撤去後

調査日：平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点2  
St.3

調査項目：騒音・振動調査  
調査機器撤去後

調査日：平成30年3月27日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：環境騒音・振動調査地点3  
St.1

調査項目：騒音・振動調査  
調査機器撤去後

調査日：平成30年3月27日

# 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営  
事業に係る設計施工監理等業務

---

調査地点：対象事業実施区域敷地境界  
St.4

---

調査項目：騒音・振動調査  
調査機器撤去後

---

調査日：平成30年3月27日

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

## 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営  
事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：猛禽類調査定点1

調査項目：猛禽類調査  
定点調査

調査日：平成29年4月10日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営  
事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：猛禽類調査定点1

調査項目：猛禽類調査  
定点調査

調査日：平成29年4月11日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営  
事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：猛禽類調査定点1

調査項目：猛禽類調査  
定点調査

調査日：平成29年5月8日

## 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：猛禽類調査定点1

調査項目：猛禽類調査  
定点調査

調査日：平成29年5月9日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：猛禽類調査定点1

調査項目：猛禽類調査  
定点調査

調査日：平成29年6月6日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営事業に係る設計施工監理等業務

調査地点：猛禽類調査定点1

調査項目：猛禽類調査  
定点調査

調査日：平成29年6月7日

## 調査写真



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営  
事業に係る設計施工監理等業務

---

調査地点：猛禽類調査定点1

---

調査項目：猛禽類調査  
定点調査

---

調査日：平成29年7月11日



業務名：新ごみ中間処理施設整備運営  
事業に係る設計施工監理等業務

---

調査地点：猛禽類調査定点1

---

調査項目：猛禽類調査  
定点調査

---

調査日：平成29年7月12日

業務名：新ごみ中間処理施設整備運営  
事業に係る設計施工監理等業務

---

調査地点：

---

調査項目：

---

調査日：